



# 摂食コーディネーターだより

名古屋特別支援学校 摂食コーディネーター 発行 令和7年度

本校では、各部2名の摂食コーディネーター、栄養教諭、保健主事、保健体育部主任、自立活動部主任を中心に、安心・安全な摂食指導の推進を行っています。今年度から摂食コーディネーターは、保健体育部と自立活動部に所属しており、多角的な視点で指導を行っていきたいと思っています。では、どのような目標でどのような活動を行っているのか紹介します。

## 目標

～安心・安全な摂食指導の充実～

- ・チーム学校で、一貫した指導
- ・摂食機能の維持、向上
- ・摂食指導の知識、技能の向上
- ・学校、家庭、関係機関との連携

## 役割

～相談窓口～

- ・担任へのアドバイス
- ・関係機関との連携

～食形態の確認～

- ・各調整段階に即した食形態かを確認
- ・必要に応じて再調整の依頼

～教員の知識・技能向上～

- ・研修の立案
- ・啓発活動

～確実な引き継ぎ～

- ・「食に関する記述」の申し送り
- ・ビデオ撮影の依頼

～摂食コーディネーター会～

- ・児童生徒の実態や発達段階に即した食形態で指導ができているかなどの情報交換

## 研修

～新年度の研修～

- ・新転任者への摂食指導研修
- ・実技研修



～夏季研修（R6）～

- ・全校研修  
「学校・センター摂食嚥下に関する研修」
- ・希望者研修  
本校摂食コーディネーターによる「摂食指導の基本」





本校の食形態について紹介したいと思います。本校では給食として4種類の形態の食事を用意しています。写真の日のメニューは、「米粉パン チキンカツ トマトソース ポパイサラダ ポトフ 牛乳、ミルクいちご」です。

食形態を粗くしたい、細かくしたいなど調整食の段階を変更したい場合、次の段階の食形態への移行に向けて、あるいは、安全を確保するため前の段階の主食（ご飯、パン、麺）の形態だけ変更したい場合、食材を持ち込んで咀嚼の練習をしたい場合は、担任にご相談ください。



### 初期食

もったりとしたカスタード状

舌の前後運動で送り、嚥下する段階  
「そのまま ゴックン」



### 中期食

もったりとしたマッシュポテト状の中に  
舌で押しつぶせる程度の状態

舌を前後、上下に動かして、上あごと舌  
で押しつぶす段階  
「つぶして ゴックン」



### 後期食

かぼちゃの煮物程度の硬さ（上あごと舌で  
は押しつぶせず、かむことが必要な状態）  
きざみではない

舌を左右にも動かし、歯茎や歯の上にお  
せてつぶしたり、かんだりする段階  
「かみかみ ゴックン」